

RS7000 Version 1.2 新機能

このたび、RS7000 のファームウェアをバージョンアップいたしました。追加された機能は以下のとおりです。付属の取扱説明書の該当箇所と一緒にお読みください。

■ 再生中のエディット (取扱説明書 P154、P225)、ステップレコーディング (取扱説明書 P80、P187)、グリッドステップレコーディング (取扱説明書 P83、P189) への切り替え

再生中に再生を止めることなく、エディット (フレーズエディット、ソングエディット)、ステップレコーディング (フレーズレコーディング、ソングレコーディング)、グリッドステップレコーディング (フレーズレコーディング、ソングレコーディング) に切り替えることができるようになりました。

操作方法はエディットには [EDIT]、ステップレコーディングとグリッドステップレコーディングには [REC] を押しません。[PLAY] を押すと通常の再生状態に戻ります。

■ キーボードパッド LED 点灯によるノート表示

キーボードパッドを鍵盤として使っているとき (取扱説明書 P18 「[KEYBOARD] ボタン」参照)、下記ノートに該当するキーボードパッドの LED が点灯するようになりました。

- ・ ステップレコーディング画面上の、カーソル位置に表示されているノート
- ・ エディット画面上の、カーソル位置に表示されているノート
- ・ 現在選択されているトラックの、再生中 (発音中) のノート

■ キーボードパッドでのセクション切り替え (取扱説明書 P72)

キーボードパッドで、セクション A ~ J に加えて、セクション K ~ P も切り替えできるようになりました。

操作方法は [SHIFT] を押しながら、キーボードパッドの黒鍵 (A ~ F) を押します。

■ リアルタイムレコーディング (取扱説明書 P80、P162、P187)

リアルタイムレコーディングで、録音状態を一時的に解除し (再生は続行)、パッドや鍵盤演奏の試し弾きができるようになりました。

操作方法は、REPLACE (リプレース) /OVERDUB (オーバーダブ) /PUNCH (パンチ) のリアルタイムレコーディング中に、[REC] を押すと LED が点滅し、録音が解除されます (再生はそのまま続きます)。再び [REC] を押すと録音状態に戻り [REC] の LED は点灯します。[STOP] を押すまで、[REC] を押すごとに録音する / しないを繰り返します。[REC] の LED も状態によって、点灯 / 点滅します。

■ グリッドステップレコーディング (取扱説明書 P83、P189)

グリッドステップレコーディングで可能になった項目は次のとおりです。

● トラック切り替え

[TRACK SELECT] を押しながらキーボードパッドの白鍵を押します。

● 再生中の小節移動

◀◀ / ▶▶ を押します。

● 録音中の他のトラックの再生

他のトラックも同時再生されます。

[MUTE] とキーボードパッドの白鍵を順に押して、トラックごとにミュートを切り替えます。

[SHIFT] と [MUTE] を同時に押すと、録音トラックのみ再生することができます。

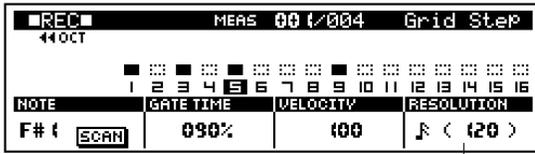
● NOTE SCAN (ノートスキャン)

[F1] を押すと、NOTE が既に入力されているなかで現在より高くても最近の NOTE に移ります。入力済みのリズムトラックで、特定の楽器のイベントを探すときに便利です。

● **グリッドの分解能の設定**

1 グリッドの分解能の設定が可能になりました。

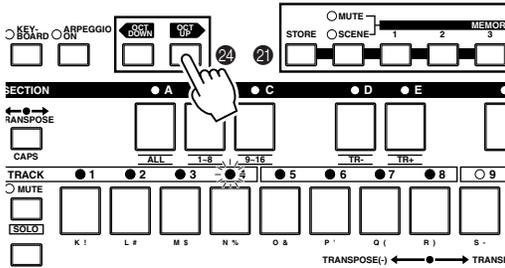
4 **RESOLUTION (レゾリューション) [ダイヤル 4]**



【設定値】 15 (1グリッドが128分音符)、20 (64分3連符)、30 (64分音符)、40 (32分3連符)、60 (32分音符)、80 (16分3連符)、120 (16分音符)、160 (8分3連符)

3連符の場合、キーボードパッドは1~12のみ使用します。

1小節のグリッド数が16を超える場合、1小節中でのキーボードパッドの編集位置は [OCT DOWN][OCT UP] で指定します。[OCT DOWN] または [OCT UP] を押しているあいだ、キーボードパッドのLEDは現在の編集位置を表示します。

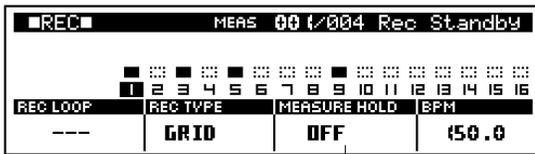


この状態では、1小節中で編集する単位が8つあるうちの4番目が編集できます。

● **MEASURE HOLD (メジャーホールド) の設定**

レコーディングスタンバイで、レコーディングタイプ (REC TYPE) がグリッドステップ (GRID STEP) のとき、MEASURE HOLD (メジャーホールド) が設定できるようになりました。(取扱説明書 P78)

7 **メジャーホールド (MEASURE HOLD) [ダイヤル 3]**



レコーディングタイプが GRID STEP (グリッドステップ) のときに設定します。

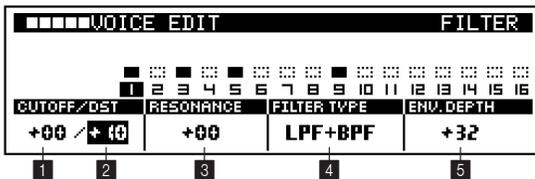
【設定値】 ON、OFF

モニター再生のループ長を設定します。

ON では1小節単位、OFF ではパターン単位となります。

■ **ボイスエディットのフィルターページの変更 (取扱説明書 P102)**

ボイスエディットのフィルタータイプが12種類増えます。またパラメーターのディスタンス (DST) を追加します。



1 **カットオフリクエシー (CUTOFF)** (取扱説明書 P103 を参照)

2 **ディスタンス (DST)..... [F1] → [ダイヤル 1]**
相対変化のパラメーター

【設定値】 - 32 ~ + 31

デュアルタイプのフィルター (Dual LPF, Dual HPF, Dual BPF, Dual BEF)、および LPF+HPF の、2つのカットオフ周波数の距離 (差) を設定します。設定値が0のとき2つのカットオフ周波数が一致します。

③ レゾナンス (RESONANCE)

(取扱説明書 P103 を参照)

④ フィルタータイプ.....[ダイアル 3] 絶対変化のパラメーター

【設定値】 BYPASS, LPF24D, LPF18, LPF12, HPF24D, BPF12D, BEF12, LPF24A, LPF18s, LPF6, HPF12, BPFw, BPF6, BEF6, Dual LPF, Dual HPF, Dual BPF, Dual BEF, LPF+BPF

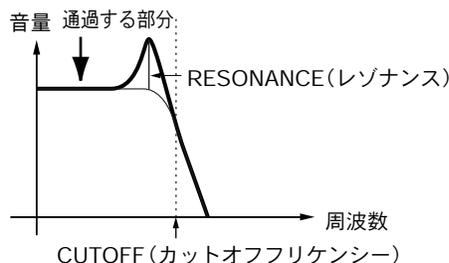
参考

今回のバージョンアップで追加されたフィルタータイプを使用しているデータは、従来の機種では正しく再現されません。

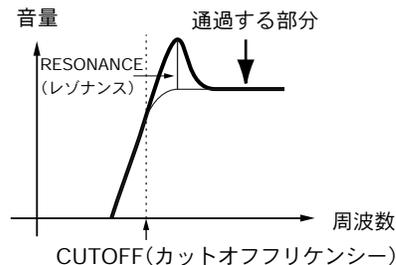
フィルタータイプの名称	旧名称	特徴
BYPASS (バイパス)	BYPASS	フィルターを通さず信号をそのまま通過させます。
LPF24D (ローパスフィルター 24dB/oct デジタル)	LPF24	デジタルならではのクセを持つ 24dB/oct の LPF 型ダイナミックフィルターです。同じ 24dB/oct の LPF24A と比べ、レゾナンス効果が強く付けられます。
LPF18 (ローパスフィルター 18dB/oct)	LPF18	3ポール (18dB/oct) の LPF です。
LPF12 (ローパスフィルター 12dB/oct)	LPF12	12dB/oct の LPF です。ハイパスフィルターとの組み合わせで使用するように設計されています。
HPF24D (ハイパスフィルター 24dB/oct デジタル)	HPF24	デジタルならではのクセを持つ 24dB/oct の HPF 型ダイナミックフィルターです。レゾナンス効果が強く付けられます。
BPF12D (バンドパスフィルター 12dB/oct デジタル)	BPF	12dB/oct の BPF です。
BEF12 (バンドエリミネートフィルター 12dB/oct)	BEF	12dB/oct の BEF です。
LPF24A (ローパスフィルター 24dB/oct アナログ)	(新規)	アナログシンセの 4 ポール LPF (24dB/oct) に近い特性を持つ、デジタルの LPF 型ダイナミックフィルターです。
LPF18s (ローパスフィルター 18dB/oct スタガー)	(新規)	3 ポール (18dB/oct) の LPF です。LPF18 に比べると、なだらかな周波数カーブを持っています。
LPF6 (ローパスフィルター 6dB/oct)	(新規)	1 ポール (6dB/oct) の LPF です。レゾナンスはありません。HPF (ハイパスフィルター) との組み合わせで使用するように設計されています。
HPF12 (ハイパスフィルター 12dB/oct)	(新規)	12dB/oct の HPF 型ダイナミックフィルターです。
BPFw (バンドパスフィルターワイド)	(新規)	12dB/oct の HPF と LPF を組み合わせたフィルターですが、通過させるバンド幅をより広く設定することができます。
BPF6 (バンドパスフィルター 6dB/oct)	(新規)	6dB/oct の BPF です。
BEF6 (バンドエリミネートフィルター 6dB/oct)	(新規)	6dB/oct の BEF です。
Dual LPF (デュアル ローパスフィルター)	(新規)	12dB/oct の LPF を 2 つパラレル (並行) に組み合わせたフィルターです。
Dual HPF (デュアル ハイパスフィルター)	(新規)	12dB/oct の HPF を 2 つパラレル (並行) に組み合わせたフィルターです。
Dual BPF (デュアル バンドパスフィルター)	(新規)	6dB/oct の BPF を 2 つパラレル (並行) に組み合わせたフィルターです。
Dual BEF (デュアル バンドエリミネートフィルター)	(新規)	6dB/oct の BEF を 2 つシリアル (直列) に組み合わせたフィルターです。
LPF+ BPF (ローパスフィルター プラスバンドパスフィルター)	(新規)	LPF と BPF を組み合わせたフィルターです。

フィルター特性

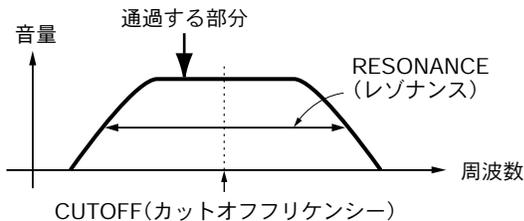
LPF24D, LPF18, LPF12, LPF24A, LPF18s, LPF6



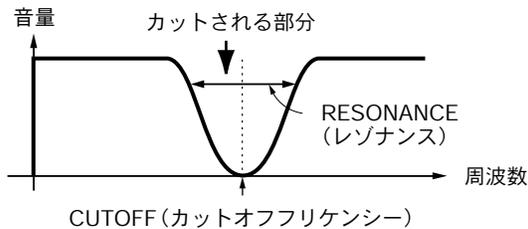
HPF24D, HPF12



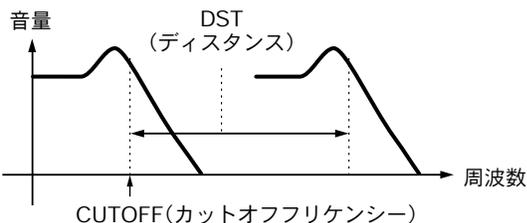
BPF12D, BPFw, BPF6



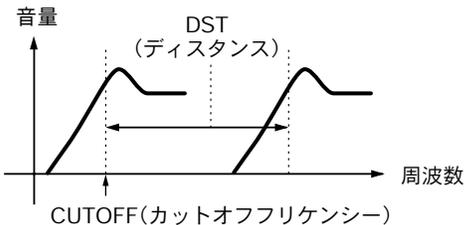
BEF12, BEF6



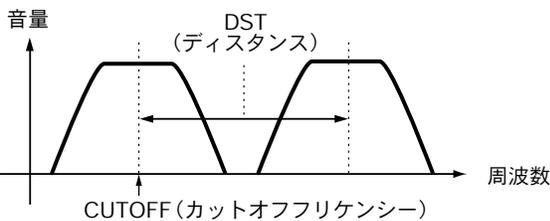
Dual LPF



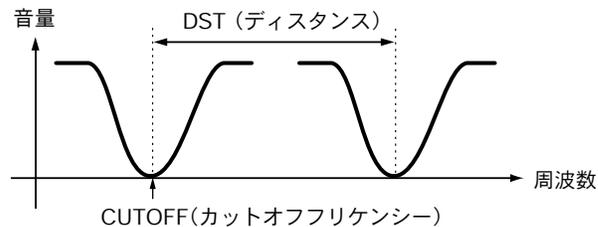
Dual HPF



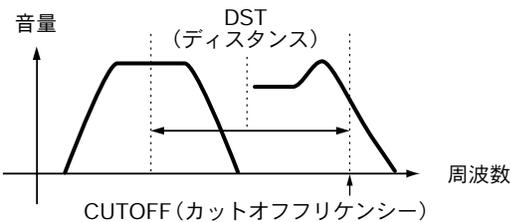
Dual BPF



Dual BEF



LPF+BPF



5 フィルターエンベロープデプス (ENV.DEPTH)

(取扱説明書 P103 を参照)

MIDI データフォーマット (取扱説明書 P325、P330) の追加

● DISTANCE パラメータの追加

- 音源部 (Voice Part) (3-1-5) CONTROL CHANGE (取扱説明書 P325)

C=79 DISTANCE ;v = 32:-32 - 64:0 - 95:+31

- < 付表 1-4 > Midi Parameter Change Table (MULTI PART) MULTI PART GROUP1 (取扱説明書 P330)

Address			Size	Data	Parameter	Description	Default Value (H)
H	M	L		(H)			
10	pp	00	1	20 - 5F	DISTANCE	-32 - +31	40

pp: パートの番号 (00H-0FH)

ヤマハマニュアルライブラリー
<http://www2.yamaha.co.jp/manual/japan/>



この取扱説明書は
 エコパルプ (ECF: 無塩素系漂白パルプ)
 を使用しています。



この取扱説明書は
 大豆油インクで印刷しています。

ヤマハ株式会社

M.D.G., Pro Audio & Digital Musical Instrument Division, Yamaha Corporation
 © 2002 Yamaha Corporation

212CRDN5.2-01A0 Printed in Japan